

# 産業消防常任委員会会議記録

日 時 令和2年6月19日(金曜日)

午前10時 0分 開議

場 所 水戸市議会 第4委員会室

午前10時11分 散会

## 付託事件

議案第92号中別表中歳出中第7款

### 1 本日の会議に付した事件

#### (1) 議案審査

① 議案第92号 令和2年度水戸市一般会計補正予算(第3号)中別表中歳出中第7款(商工費)

### 2 出席委員(7名)

委員長	大津亮一君	副委員長	森正慶君
委員	田口文明君	委員	黒木勇君
委員	渡辺政明君	委員	栗原文隆君
委員	内藤丈男君		

### 3 欠席委員(なし)

### 4 委員外議員出席者(なし)

### 5 説明のため出席した者の職、氏名

副市長	田尻充君		
産業経済部長	鈴木吉昭君	産業経済部参事	川崎幹男君
産業経済部参事兼商工課長	長谷川昌人君	産業経済部技監兼農政課長	深澤和広君
観光課長	小林一仁君	農産振興課長	後藤俊之君
公設地方卸売市場長	武田和馬君		
消防長	小泉直紀君	消防次長	大内康弘君

### 6 事務局職員出席者

書記	大内しおり君	書記	島田祐輔君
----	--------	----	-------

午前10時 0分 開議

○大津委員長 おはようございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから産業消防委員会を開会いたします。

なお、本日も引き続き、執行部の出席は最小限にとどめることとしておりますので、あらかじめ御了承願います。

それでは、これより議事に入ります。

本日の日程は、議案第92号の1件であります。

それでは、付託議案については一通りの質疑を行いましたので、これより議案第92号について、御意見等を伺いながら採決に入ってまいりたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 御異議なしと認め、そのように進めさせていただきます。

それでは、これより御意見等を伺いながら採決に入ります。

採決の方法は挙手によりお願いします。

議案第92号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第3号）中別表中歳出中第7款（商工費）について、御意見等がございましたらお願いいたします。

黒木委員。

○黒木委員 まず、事業継続緊急支援金（第2次）につきまして、意見を述べさせていただきます。

補正予算額1億円という中で、今回第2次となる本事業におきましては、国の持続化給付金の対象外となりました事業者で、令和2年8月から12月までのうち、前年同月比で1か月の売上げが30%以上減少している月があること、さらに新規創業者の特例を設けるものであります。しかし、本事業の第1次における利用者は、現在までに58件、約860万円にとどまっております。対象となる法人、個人事業主への本支援制度の周知が足りないのではないかと懸念しております。第1次では2億円、今回の第2次では1億円の予算を計上しており、支援が必要とされる事業主へ確実に支援が行き届くよう制度の周知改善を早急に図っていただきたいと思っております。

次に、経済振興・子育て支援プレミアム商品券発行事業補助金についてであります。

これは補正予算額7,000万円を計上し、市内経済の活性化と消費拡大を図るとともに、子育て世帯を応援するため3割以上お得なプレミアム商品券を発行する事業であります。中学3年生以下の子どもさんがいる世帯への本事業の確実な周知を図っていただきながら、より多くの方に利用していただき、市内経済振興に資する事業としていただきたいと考えます。

次に、貸切バス事業者緊急支援金につきましては、補正予算額450万円が計上されました。観光客の交通手段として重要な役割を担う貸切りバス事業者を支援する事業であります。しかし、予算額の算出根拠となる事業者を、貸切りバス5台以上保有の9社としたことは、保有台数が5台に満たないため対象外となる事業者があるとすれば、到底納得のいく制度設計ではないと考えます。本事業の実施に当たっては、第3次産業が約8割となる水戸市の重要な観光産業を支える事業者であるとの認識に立っていただき、より柔軟な施策の実施を図っていただきたいと考えます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症により外出自粛などの大きな影響を受けた方々に対する支援施策の実施により、市民生活の安定と経済回復を図るため、今回の第2次となる補正予算が計上されております。今後、さらに国の第2次補正予算が成立したことで、水戸市においても第3次となる施策の策定がなされることと思います。切れ目なく施策の策定と執行が続きますが、本市の基幹産業を守り、支えていくという崇高な使命感を持っていただき、執行部におかれましては、これまで取りまとめて実施する予定であった水戸黄門まつりなどの各種イベントが、残念ながら中止となってしまっております。かなり長期にわたって、昨年の祭りが終了した時点から、今年度はオリンピックの影響があるということも含めて日程の調整、各団体との調整を続けてきた職員にとっては、本当に残念な状況であるというふうに、その無念さも感じておるところであります。この新型コロナウイルス禍の社会状況の中で、どうか、産業経済部職員が一丸となっていただき、各課を超えた事業の制度設計と確実な実施を図っていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○大津委員長 ほかにございませんか。

渡辺委員。

○渡辺委員 議案第92号 令和2年度水戸市一般会計補正予算（第3号）中産業消防委員会所管分でございますけれども、昨日の質疑、答弁等を含めまして、やはりそれぞれの立場に立った、業種に合った、そういう補正措置なのかなと、また助成措置なのかなというふうに感じております。したがって、私はこれに賛成していきたいというふうに思います。

賛成という背景の下に意見をちょっと述べさせていただきたいと思っております。

御案内のように、今、市の経済活動、産業活動、また市民生活は大変疲弊しているということだと思っております。この経済活動、特に循環型の経済活動が滞っているということで、それにまつわる今回の助成措置であるのかなと思っております。この循環型の経済活動が1か所でも滞っていると、全体がスムーズに進行しないということもあるかと思っておりますよ。そうでしょう、例えば、幾ら経済振興のプレミアム商品券を発行したとしても、受皿であるほうの小売店とかの理解がなくて、パワーが減退しては意味がないというのと同じように、これらがぐるぐる回らないといけないというふうに私は強く感じております。

それで、今後、いわゆる第3次もあるかと思っておりますけれども、要は全国の市町村どこも同じスタートラインに立っているんです。今回は東日本大震災や水害と違って、限定的な地域じゃない。今、全国の市町村がいわゆる再生を目指して頑張っているんですね。今回の補正はカンフル剤なんです。カンフル剤というのは蘇生をしたり回復をさせたり再生をさせるということで、そういうカンフル剤として提供しているわけですね。それが血管を通過して末端まで行かないと駄目なんです、循環型にならないんです。まして、全国一斉にスタートしているんで、そこで求められるのが、やはりただ単に助成をするんじゃないで、その助成の仕方、そういうものも大事なんじゃないかと思っております。特に販売促進、セールスプロモーション活動というものを求めています。しかし、これは業者さんだけの連携ではなかなか難しい。やはり行政のサポートが必要なのかなというふうに私は思っておりますので、ぜひ担当しているそれぞれの助成措置について、行政の支援、そういうものを十二分に発揮していただき、他市町村に先駆けるような、そういう取組をしていた

だくと。もう第3次は要らないというぐらいの気概を持って取り組まないと、いつまでもだらだらやっているわけにはいかないんですよ。金には限度があるんです。人間の欲望には限度がないんです。そういう意味では、きちっと今回の取組についてどれぐらいの成果を上げるのか、どれぐらい有効な形でこれらの取組が浸透するか、そういうものをしっかり見極めながら、ぜひ遂行していただきたいということを強くお願いして意見とさせていただきます。

○大津委員長 ほかにございませんか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 ないようですので、議案第92号について採決します。

議案第92号中別表中歳出中第7款について、原案のとおり可決することに賛成の方は挙手願います。

〔賛成者挙手〕

○大津委員長 総員挙手であります。

よって、議案第92号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上をもちまして、当委員会に付託されました議案の審査は終了しました。

なお、この際、本会議における委員会報告書についてお諮りします。委員会報告書の作成については、正副委員長に御一任願いたいと存じますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

次に、閉会中所管事務調査についてを議題とします。

本件については、お手元に配付しました閉会中所管事務調査一覧表のとおり、当委員会から議長に対しまして申出をしたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○大津委員長 御異議なしと認め、そのようにさせていただきます。

この際、御報告を申し上げます。

今年度の高松市のさぬき高松まつり及び彦根市のひこねの城まつりにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催中止との連絡を受けておりますので御承知お願います。

それでは、以上をもちまして本日の産業消防委員会を散会します。

御苦労さまでした。

午前10時11分 散会